

令和6年度「全国学力・学習状況調査」の分析結果と改善策 札幌市立栄西小学校

令和6年4月18日（木）に全国一斉に行われました「令和6年度 全国学力・学習状況調査」の本校の結果を基に、調査における成果と課題、そして改善の方向を考察しましたので、お知らせいたします。
なお、調査教科は、国語と算数を対象に、「知識」や「活用」などに関する問題が出題されました。

今回の調査における成果と課題

改善の方向

小学校 国語

<成果>

- 話し言葉と書き言葉との違いに気付く。
- 日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに気付く。

<課題>

- 目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討する。
- 文の中における主語と述語との関係を捉える。
- 人物像を具体的に想像する。

☆集めた材料を聞き手が知りたい内容と自分が伝えたい内容に整理したり、目的に応じて優先順位を考えたりできるようにする活動の充実

☆日常的に主語が何かを意識して文章を読んだり書いたりすること、主語の表し方は様々にあることや、主語と述語が離れて表されている場合があることを理解できるようにする活動の充実

☆漠然としている登場人物の人物像を明確にしたり、想像した人物像の根拠となる描写を明らかにしたりすることができるようにする活動の充実

小学校 算数

<成果>

- 球の直径の長さや立方体の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表す。
- 角柱の底面や側面に着目し、五角柱の面の数とその理由を言葉と数を用いて記述できる。

<課題>

- 除数が小数である場合の除法において、除数と商の大きさの関係について理解している。
- 除数が小数である場合の除法の計算をする。
- 折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述できる。

☆日常の具体的な場面に対応させて、計算に関して成り立つ性質や除数と商の大きさの関係を捉えることができるようにする活動の充実

☆整数の場合の計算の意味や計算の仕方を活用して、計算をすることができるようにする活動の充実

☆日常生活の場面のデータをグラフに表し、そのグラフから特徴や傾向を捉え、見いだしたことを表現できるようにする活動の充実

児童質問紙の結果から（全国平均と比較し、肯定的回答の多い項目、少ない項目を抽出）

- 「国語の勉強は好き」と答えた児童の割合は、10ポイント以上高い。
- 「国語の授業の内容はよく分かる」と答えた児童の割合は、15ポイント以上高い。
- 「英語の勉強は好き」と答えた児童の割合は、20ポイント以上高い。
- 「スマートフォンなど、家族との使い方の約束を守っている」と答えた児童の割合が低い。
- 「平日、2時間以上テレビゲームをしている」と答えた児童の割合が、10ポイント以上高い。